

①経営体の概要

- 所在地:佐賀県伊万里市
- 経営体名:草場博昭
- 経営規模:肥育牛 61頭、繁殖雌牛 34頭

②導入技術・システム(商品名・サービス名、企業名)

- ファームノート・カラー 6機 ((株)ファームノート)
- 分娩監視システム「牛温恵」 2機 ((株)リモート)

③導入の経緯

- 農業改良普及センターの依頼により、ファームノート・カラー(繁殖雌牛の首に取り付けた端末が牛の活動量から発情の兆候を分析し、分析情報を管理者へメールで通知するシステム)の実証試験に取り組んだところ、効果が実感できたことから、本格導入した。
- 繁殖雌牛の体温を監視し分娩への細かい兆候を検知し、牛舎に設置している親機からスマートフォンへ通知するシステム「牛温恵」も同時に導入した。

④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- なし

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 「ファームノート・カラー」の情報はあくまでも発情の兆候を示すものであり、通知があっても獣医師による子宮管の状態確認等を行い、受精が確実だと判断できた場合に人工授精を行っており、これまでの目視確認を補助するシステムと考えているが、発情兆候を見逃すことはまず無い。
- 「牛温恵」の導入により、これまでは夜中に目視により出産兆候の確認を行っていたが、システム導入後は自宅にいながら通知があれば対応すれば良いので労働時間の短縮、精神的な負担軽減となっている。

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- ファームノート・カラーは、親牛に初めて装着する際に、その親牛の活動量の基礎データ取得のため1週間程度が必要となる。装着後の早い段階から発情監視できることが望ましい。



端末機[ファームノート・カラー]



受信機(親機)[牛温恵]